

留学報告書 II (2021 年度小 5 コース留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾幼稚舎・5 年
留学先校名	Dragon School
留学期間	2021 年 9 月から 2022 年 7 月まで

留学を振り返って

留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？

最初は初めての英語の環境、寮生活に慣れるのに苦労し、ホームシックになりました。少しずつ英語が理解できるようになってきた後半からは、授業や寮生活が楽しくなり、仲の良い友だちもできて、留学の良さ、楽しさが分かるようになりました。留学が終わって振り返ると、期待以上の留学生活だったと思います。

クラブ活動や課外活動など、勉強以外の活動について教えてください。

クラブ活動(After School Clubs)は、月曜日、水曜日、金曜日の学校の授業の後、スポーツのチーム練習(Games)が終わってから行います。寮生は学校から一旦寮に戻り、必要ならば着替えてからクラブ活動に参加します。クラブ活動の例としては、テニス、プログラミング、ランニング、日本語、中国語、ドイツ語、チェス(上級、中級、初級)などがありました。クラブ活動への参加は自由です。Term 毎の申し込みなので、Term 毎に違うものを取り取することもできます。人気があるクラブ活動(例えばテニスの個人レッスンなど)は、すぐに定員になってしまい(申し込み順)、希望するクラブ活動が取れない場合もあります。また、一部のクラブ活動(例えばチェス上級、スポーツ系の上級クラス、コーラス隊など)は、先生から指名された人限定のものもあります。また、クラブ活動によっては、費用がかかるものがあります(材料費、個人レッスン料など)。ぼくは、テニスとチェスを取りました。チェスは日本ではやったことがなかったのですが、先生にルールなどを教えてもらって、上達することができました。

課外活動(Dragon QUEST)は、土曜日の午前中にあります。こちらも参加は自由です。Term 毎の申し込みなので、Term 毎に違うものを取り取ることが可能です(一年を通して同じものでも構いません)。9:00-12:00 の Activity(CONQUEST)、9:30-10:30 の Activity(Session 1)、11:00-12:00 の Activity(Session 2)があり、CONQUEST を取った場合は一つしか取れませんが、Session 1, 2 と二つ取ることも可能です。クラブ活動と同じく、Activity によっては、費用がかかるものがあります。課外活動の例としては、CONQUEST としては、ボート、ポロ、ゴルフ、セイリング、Session 1, 2 としては、歴史を学ぶ、料理、モダンダンス、弓、フットサル、ミュージカル、ロックバンド、空手、工作、演劇などがありました。ぼくは、一年を通してゴルフを取りました。ゴルフコースまで行って練習するので、とても気持ち良かったですが、冬はとても寒かったです。

クラブ活動も課外活動も、いろいろな選択肢があり、日本では取れないような活動もあるので、いろいろな新しいことにチャレンジできて良いと思いました。

ルームメイトについて教えてください。(1 人部屋だった場合は、同じ寮の友人について教えてください。)

ぼくたちの寮は、3 人～6 人部屋でした。Term 毎に部屋割りが変わりました。ぼくは、いろいろな国の子とルームメイトになれてとてもラッキーでした。

一部屋につき大体一人 Day Boarder と呼ばれる、ある曜日だけ寮に泊まる子や、Flexible Boarder という泊まりたい日だけ寮に泊まる子がいます。

アドバイザーの先生との面会がありましたか？ どのような内容でしたか？

一週間に一度、EAL という英語が母国語ではない人に対する英語のレッスンがあり、英語のレッスンとアドバイスを受ける機会がありました。また、ぼくは英語に慣れていなかったので、二週間に三回、EAL の先生が追加レッスンをしてくれました。そのときは、他の授業を抜けて EAL のレッスンを取ります。英語が上達するためのレッスンですが、最初ホームシックで弱気になっていたぼくをいつも励ましてくれて感謝しています。

短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

Half-Term と呼ばれる短期休暇は、学校の生徒と一緒にスイスのスキーツアーに参加したり、初めてのセイリングに挑戦したりしました。Term と Term の間の長期休暇は、4 週間弱と長いこともあり、日本に帰国して家族と一緒に過ごしました。

勉強について

各授業の内容・進め方・宿題・テストについて、日本との比較に触れながら記入してください。

授業は、Dragon School と幼稚舎でいろいろ違う点がありました。

- ① 授業の内容、範囲、進め方:理科は、幼稚舎の方が実験が多いです。算数は、Dragon School では、難問を解くときに、チームで考えさせることがあります。先生の質問に答えるとき、幼稚舎では、席順で答えることが多いですが、Dragon School では、早く手を挙げた人が答えます。幼稚舎では、教科書をよく使い、それを黒板に書いたりしますが、Dragon School では、何か具体的な物を使ったり、パワーポイントを使ったプレゼンテーションをしたり、ホワイトボードを使ったりします。
- ② クラスの生徒数:幼稚舎は 36 人、Dragon School は十数人。少人数で授業が行われるので、より細かいレベル別のクラス分けになっています。
- ③ 宿題:幼稚舎は、プリントが多いですが、Dragon School は、コンピュータを使って答えたり制作したりすることが多かったです。宿題の量は、幼稚舎の方が多いです。また、Dragon School では、金曜日には宿題は出ませんでした。
- ④ テスト:テストの回数は、幼稚舎の方が多いです。

今後について

この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

これまでぼくは、日本の中で、家族やよく知っている友だち、先生方と毎日生活し、遊んだり勉強したりしていました。派遣留学は、ぼくをそれまでのぼくの生活とはまったく違う世界に連れて行ってくれました。初めての英語だけの授業、学校生活、家族とはなれての寮生活。いろいろな国から集まってきたぼくとは違う考えを持つ友だち。食べ慣れない食事。慣れない気候。派遣留学前に想像していた以上に何もかも違って最初はとまどい、泣きたくなり、ホームシックになりました。でも、たくさんの人に励ましてもらい、支えてもらったおかげで、何とか派遣留学を続けることができました。派遣留学期間の半分以上が過ぎて少しずつ英語が分かるようになってくると、最初はとまどっていた日本との違いも楽しめるようになり、友だちもできて留学生活が楽しくなりました。大変な時期があったからこそ、それを乗り越えることによって少し自信が付き、自分自身も成長できたのではないかと思います。振り返ってみると、この貴重な派遣留学に行かせてもらって本当に良かったと思います。

今後の派遣留学生へのアドバイス

(事前に日本で学習しておいた方がよいことや、用意しておいた方がよいことがあればお知らせください)

日本について聞かれ、日本を紹介する機会があるので、日本について簡単に紹介できるように英語でまとめておく役に立つと思います。

また、日本では、答えが合っていると自信があるときに手を挙げて発表することが多いと思いますが、Dragon Schoolでは、答えが合っているかどうか自信がなくても、自分はそう思うのであれば、どんどん手を挙げて意見を言うことが多いので、そういうスタイルに慣れておくのと良いと思います。

自分は、最初英語が分からなくて自信がなくなりホームシックになりましたが、最初はみんなそうなんだとよくよしないで、英語もいつかは分かるようになるんだと決めてあきらめないでがんばってほしいと思います。そうすれば、きっと留学生活が楽しくなる時が来ると思います。

以上

